

Aputure®

Light  storm

LS 600c Pro

取扱説明書

日本語

日本正規代理店
アガイ商事株式会社

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-16 アカイビル
Email: info@agai-jp.com Web: www.agai-jp.com

フリーダイヤル 0120-862-886
TEL:03-5954-7577 FAX:03-5954-7578

Thank You!

この度は、Aputure® "Light Storm" シリーズ RGBWW COB ライト - LS 600c Pro をお買い上げいただき、ありがとうございます。

LS 600c Proは、CCT、HSI、XY、RGB、GEL、SOURCEの各ライトモードをサポートし、Sidus Linkアプリ、DMX512/RDM、Lumenradio CRMX、Ethernetでプロフェッショナルに制御できる、2300Kから10000Kまで色温度を完全に調整可能な高出力フルカラー光源です。

LS 600c Proは、インテリジェントな電源とシネマティックな制御により、より包括的でプロフェッショナルなライティングソリューションを提供し、真の創造的な自由を提供します。



ご使用前の注意事項

ご使用に際して、以下の安全に関する事項にご注意ください。

1. ご使用前に取扱説明書をお読みください。
2. お子さまのそばで使用する場合は、必ず保護者の監視のもとにご使用ください。使用中は、器具を放置しないでください。
3. 表面温度が高い時には、火傷に注意してください。
4. コードが損傷している場合、または器具が落下したり損傷したりした場合は、資格のあるサービス担当者の検査を受けるまで器具を操作しないでください。
5. 電源ケーブルは、つまずいたり、引っ張ったり、高温の表面に接触させたりしないように配置してください。
6. 延長コードが必要な場合は、少なくとも器具の定格電流と同じ電流のコードを使用すること。器具の定格電流より小さいコードは、オーバーヒートする恐れがあります。
7. 照明器具の清掃や点検をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。決してコードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
8. 使用後は、完全に冷めた状態で保管してください。収納するときは、照明器具から電源ケーブルを抜き、キャリーケースの所定のスペースに収納してください。
9. 感電防止のため水や他の液体には浸さないでください。
10. 火災と感電防止のため、分解しないこと。修理についてはご購入の販売店か、アガイ商事（株）へご連絡ください。組立の不備が使用中の感電の原因となることがあります。
11. Aputure社が推奨する以外の付属品使用は火災、感電、負傷の原因となることがあります。
12. ご使用の際はアースもお繋ぎください。
13. ライトご使用前に保護カバーを外してください。リフレクターも保護カバーを外してからご使用ください。
14. 通気口を塞いだり、ライト点灯中は光源を直接見ないようにしてください。
15. LEDライトは可燃物に近づけないでください。
16. お手入れには乾いたマイクロファイバークロスをご使用ください。
17. 修理点検は必ず専任の担当者にお任せください。
18. 非正規の修理業者による補修後の不具合は保証の適用外となります。
19. Aputure純正のケーブルアクセサリのご使用をお願いいたします。それ以外の製品が原因となり不具合が生じた場合の修理は、実費にて承ります。
20. 製品を頭上に吊るす場合は、必ず製品の重量に適合する安全ワイヤーなどの安全対策が施されていることを確認してください。
21. RoHS, CE, KC, PSEそしてFCCの認証を受けています。通常使用範囲内でのご使用をお願いいたします。適用外で発生した故障については保証外となり、修理代はお客様負担となります。
22. マニュアルは社内管理テストに基づいて作成しております。デザイン、スペック変更の際には、追加情報のお知らせは致しかねますのでご了承願います。

この取扱説明書は大切に保管してください

FCCコンプライアンス

この機器はFCC規定の15条に適合し、以下二条件の下の使用を目的とする。

- (1)当機器は有害な干渉を起こさない。
- (2)当機器は意図に反する干渉を含め、すべての干渉を受理する。

警告:コンプライアンス責任者の許可なく変更または改造した場合、機器の使用権利を失効することとする。

注意:当機器は、FCC規定15条のデジタル機器クラスBの承認を受け、住宅地区での使用に有害とならないよう設計されている。しかしラジオ波の発生、使用あるいは放射が起こり、規定外の設置及び使用により電波障害を引き起こすこともある。特定の設置方法で電波障害が回避できる保証はない。この為、ラジオ及びテレビへの障害が確認されたら、設置の際に電源をオン/オフしながら調整する必要がある。

- ・ 機器とレシーバーの距離をあげる。
- ・ 機器とレシーバーはそれぞれ違うコンセント回路へ接続すること。

ご相談は、販売店または専門スタッフへお問い合わせ下さい。

RF基準について

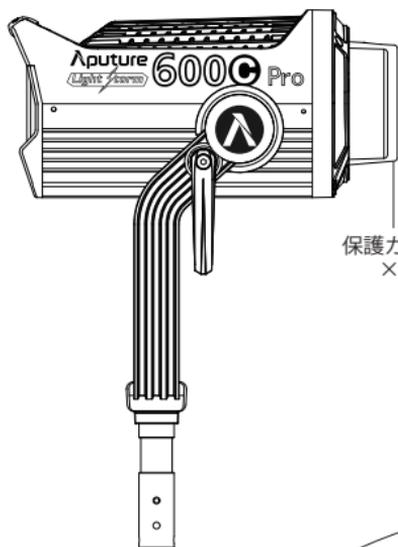
この機器はRF基準を満たしていると評価されています。

商標

「ボーエンス」は、Bowens社の商標です。
“Neutrik®” は、Neutrik®社の商標です。

アイテムリスト

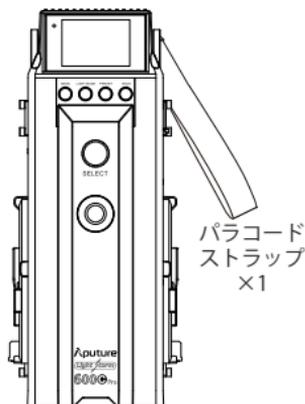
下記の付属品がすべて揃っていることをご確認の上、ご使用ください。
不足するものがある場合、すぐにご購入の販売店に連絡してください。



保護カバー
×1



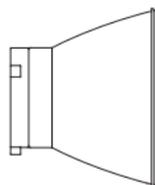
ライトニング
クランプ×1



パラコード
ストラップ
×1

LS 600c Pro
コントロール
ボックス×1

LS 600c Pro
ランプヘッド×1



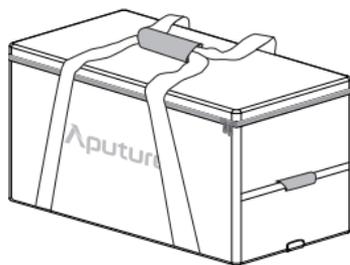
600シリーズ
ハイパーリフレクター×1



Neutrik® powerCON AC
電源ケーブル (6m)×1



LS 600 Series 7-Pin
ランプケーブル(7.5m)×1

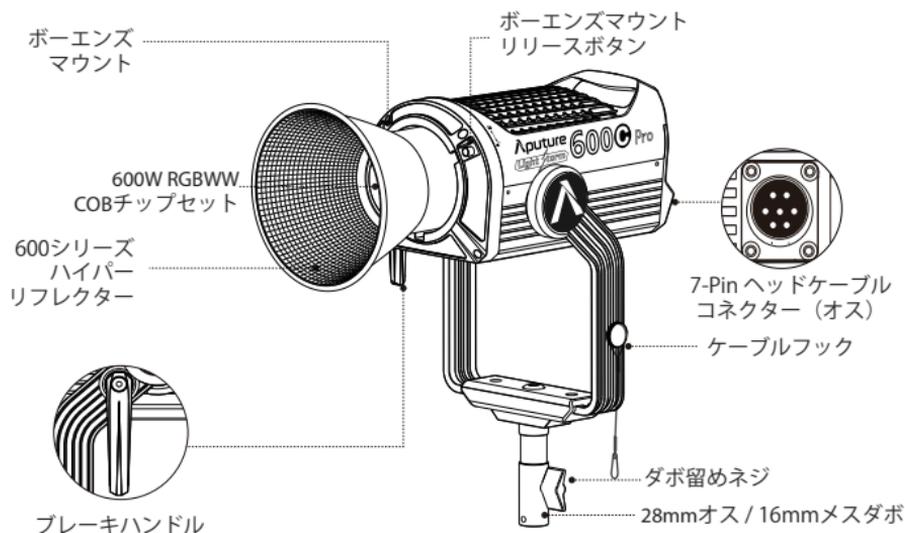


LS 600c Proトローリー
キャリーケース
(キャスター付き) ×1

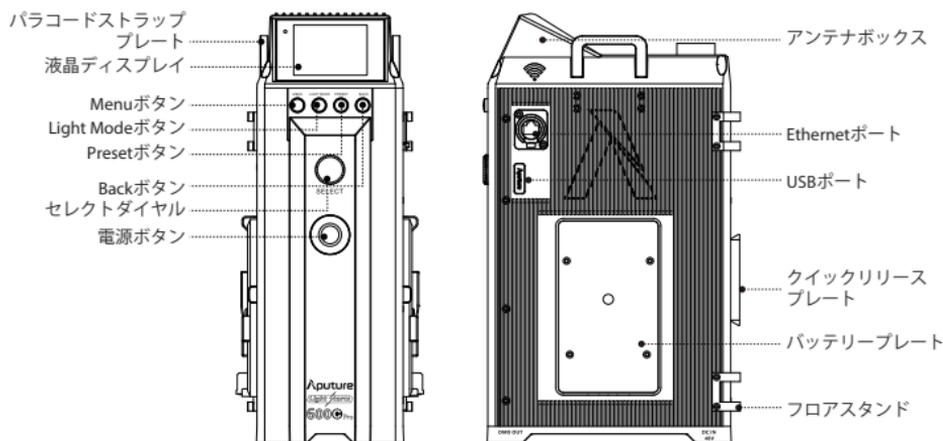
マニュアルのイラストはあくまで参考のための図です。
製品の新しいバージョンが継続的に開発されているため、製品とが図と異なる場合は、
製品本体を参照してください。

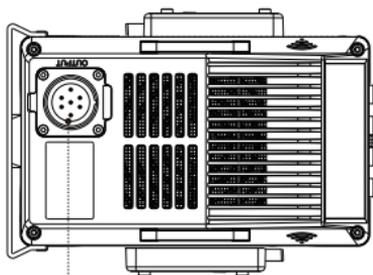
製品詳細

1. ランプヘッド

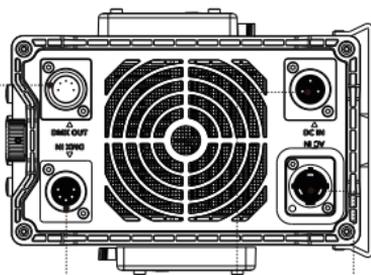


2. コントロールボックス





7-Pinヘッドケーブルコネクタ (メス)



DMX OUT
ポート

DMX IN
ポート

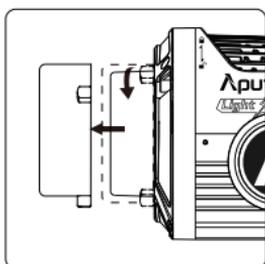
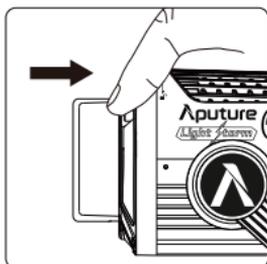
48V DC電源入力
(3-Pin XLR)

Neutrik®
powerCON
AC電源入力

セットアップ

1. 保護カバーの付け外し

保護カバーを外すには、リリースボタンを押しながらカバーを向かって時計回りに回します。取り付けには、保護カバーをボアエンスマウントに押し込み反時計回りに回します。

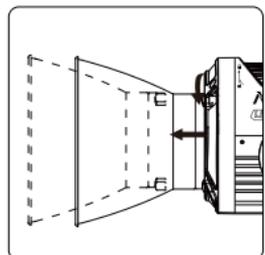


注意：保護カバーはライト点灯前に必ず取り外してください。また収納時には必ず装着してください。

2. ハイパーリフレクターの付け外し

リフレクターを取り付けるには、リフレクターをボアエンスマウントに挿入し、図のように反時計回りに回転させます。

リフレクターを取り外すには、リリースボタンを押しながら、リフレクターを時計回りに回転させます

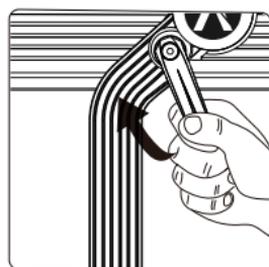
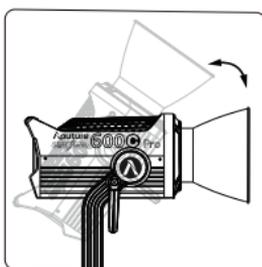
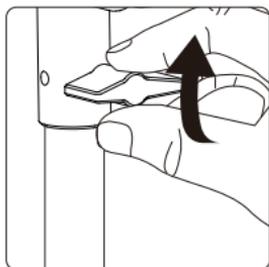


3. ランプヘッドの設置

16mmダボスタンドを使用する場合、スタンドの上にランプヘッドを設置し、ダボ留めネジを締めて固定します。スタンドのダボがメス受けの場合、必要に応じて16mmダボを使用してください。

28mmダボスタンドを使用する場合、ダボ留めネジを外したあとスタンドの上にランプヘッドを設置し、スタンドの固定ネジを締めて固定します。

ブレーキハンドルを緩めてランプヘッドの角度を調整し、締めてランプヘッドを固定します。

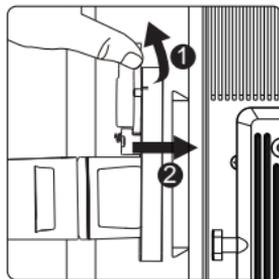
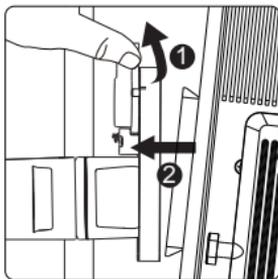
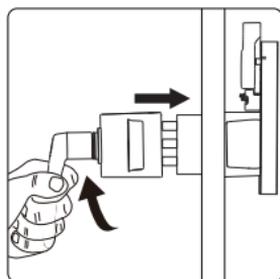


4. ライトニングクランプの設置

1) ライトニングクランプをスタンド等に取り付けます。

2) コントロールボックスを取り付けるには、①固定レバーを回し、②コントロールボックスのクイックリリースプレートをかませせて装着します。装着すると、カチッと音がして①のレバーが自動で戻ります。

3) コントロールボックスを取り外すには、本体をしっかり保持し、①固定レバーを回し、②コントロールボックスを持ち上げます。

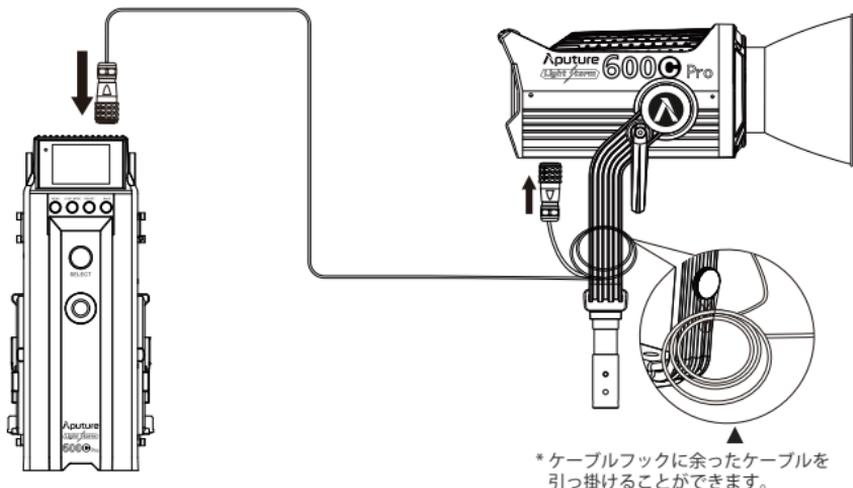


ライトニングクランプ・スペック

重量	670g	サイズ	10.35×8.74×12.5 cm
* ライトニングクランプは直径 2～5 cm のパイプに取付可能です。			

5. ランプヘッドをコントロールボックスに接続

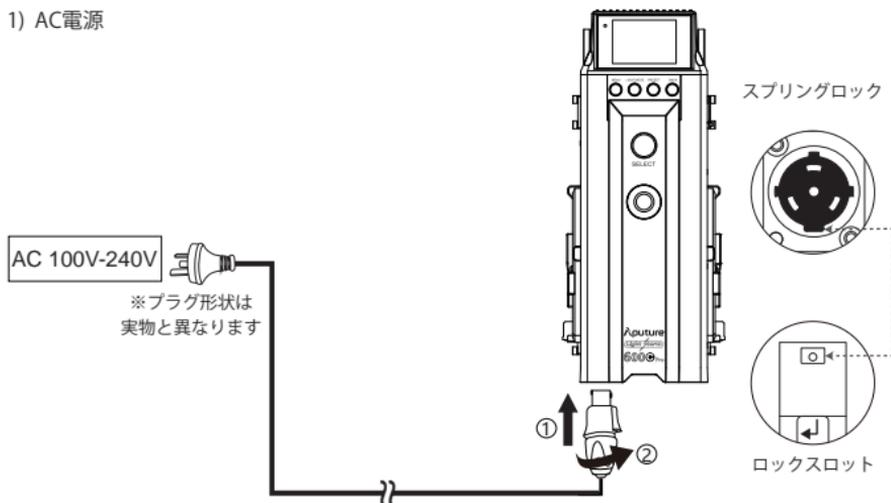
7-pinランプケーブルを使用して、ランプヘッドとコントロールボックスを接続します。



ヘッドケーブルを外すには、コネクターのリングを引っ張るとロックが外れ、引き抜くことができます。ケーブルを直接引っ張らないでください。

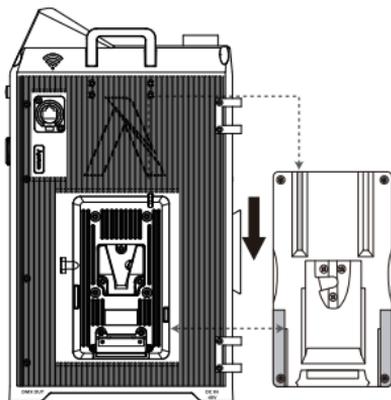
6. 電源に接続

1) AC電源



Neutrik® powerCon電源ケーブルを外すには、コネクター部分の銀のタブをスライドさせながらコネクターを時計回りに回します。ケーブルを直接引っ張らないでください。

2) バッテリー電源



▲ Vマウントバッテリー

7. バッテリー充電

LS 600c Proのコントロールボックスは、Vマウントバッテリーのチャージャーとして使用できません。AC電源に接続しバッテリーを装着すると、バッテリーの充電を開始します。下記の発光設定のときのみ、充電が可能です。

Dimming curve (調光カーブ) の設定により、充電可能な光量が異なります。

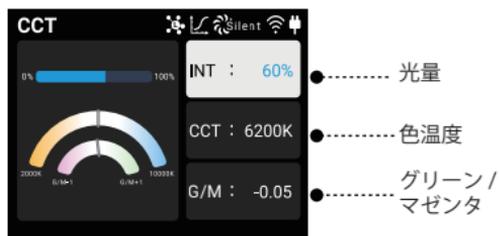
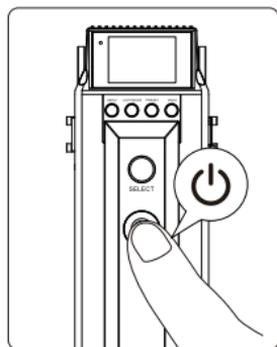
Exp (指数関数的) または Linear (直線) : 70%以下

Log (対数関数的) : 30%以下

S-Curve (S字カーブ) : 55%以下

操作

1. 電源ボタンを押して、電源をオン/オフします



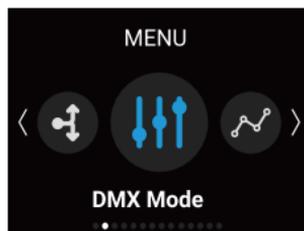
初期画面 (CCTモード)

2. マニュアル制御

2.1 メニュー

MENUボタンを押して、システムメニューに進みます。
システムメニューでセレクトダイヤルを回すと、下記のメニューを選ぶことができます。
メニューを選んでセレクトダイヤルを短く押すと、各メニューの詳細を設定できます。

Output Mode / DMX Mode / Custom FX / Dimming Curves / Fan Mode / Studio Mode / Control System / Language / Frequency Selection / Product Information / Update / Factory Reset / Battery Power Option

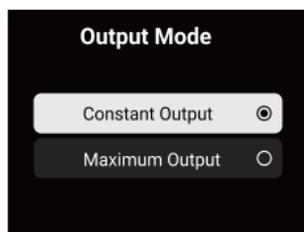


2.1) Output Mode (アウトプット・モード)

ライトの明るさに関する設定ができます。

Constant Output : 色温度等を変化させても、明るさは変化しません。

Maximum Output : 色温度等を変化させると、その設定の最大出力で発光します。



2.1.2) DMX Mode

・ DMX address : DMXアドレス設定画面に切り替わります。セレクトダイヤルでアドレスを設定でき、ダイヤルを2秒長押しするとアドレスをロックできます。ロックを解除するには、同様にダイヤルを2秒長押しします。

・ DMX Loss Behavior : DMX信号が失われた際のライトの挙動を、下記の4つから設定できます。

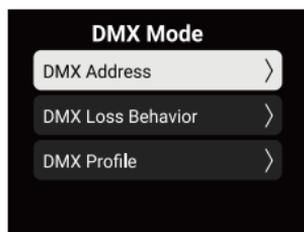
① Hold last setting - 直前の設定を維持します。

② Black out - 消灯します。

③ Fade to Black - DMX信号が失われると、最大60秒かけて消灯していきます。消灯するまでの時間は出力により前後します。

④ Hold 2 min & Fade Out - DMX信号が失われると、2分間直前の設定を維持し、その後最大60秒かけて消灯していきます。消灯するまでの時間は出力により前後します。

・ DMX Profile : DMXのプロファイルを設定できます。Lighting (発光)、Effect (エフェクト) や 8ビット・16ビット等の切替ができます。

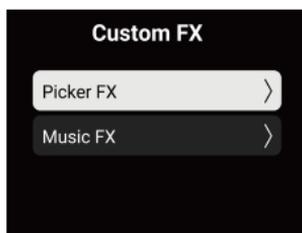


* DMX信号が再接続された場合、再接続されたDMX信号に従います。

2.1.3) Custom FX (カスタムFX)

Sidus Linkアプリで作成した“Picker FX”および“Music FX”のカスタムエフェクトを呼び出します。

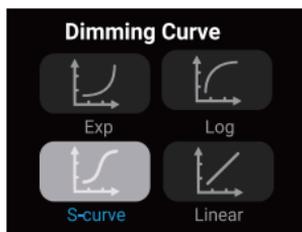
どちらのFXも、10のカスタムエフェクトを保存できます。“NO FX”は何も保存されていないことを、“Untitled”はエフェクトが保存されていることを表します。



2.1.4) Dimming Curves (調光カーブ)

Dimming Curvesモードでは、調光した際の光量変化の曲線を設定できます。

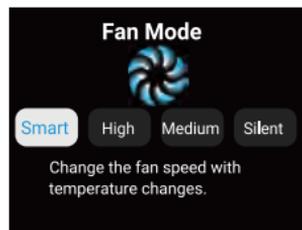
セレクトダイヤルを切り替えてカーブを選択し、押し込んで確定します。指数関数カーブ (Exp)、対数関数カーブ (Log)、S字カーブ、直線 (Linear) の4つから選択できます。



2.1.5) Fan Mode (ファンモード)

ファンモードでは、冷却ファンの設定が切り替えられます。

セレクトダイヤルを切り替えてスマート (Smart) / 高 (High) / 中 (Medium) / 静音 (Silent) の4つから選択し、ダイヤルを押し込んで確定させます。スマート (Smart) は、ライトのご使用状況に応じてファンの回転速度が変化します。

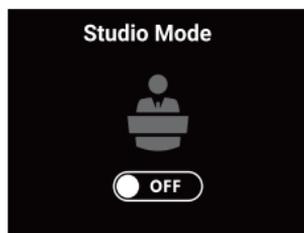


* Silent (サイレント) は、すべてのファンが停止します。光量の上限は60Wまでになります。

* オーバーヒートのサインがディスプレイに表示された場合、その下の文章に従い、ファンモードをSmart (スマート) かHigh (高) に設定してください。ランプの内部温度が規定値に達すると、過熱保護機能により自動的にランプが停止します。

2.1.6) Studio Mode (スタジオモード)

スタジオモードのオン/オフの設定が切り替えられます。スタジオモードをオンにすると、ライトが電源に接続されるとすぐにライトの電源が入ります。スタジオモードをオフにすると、電源に接続したあと電源ボタンを押してライトを立ち上げるようになります。

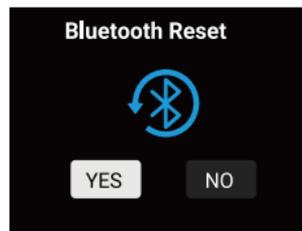


2.1.7) Control System (コントロールシステム)

LS 600c ProfはBluetooth、LumenRadio CRMX、Ethernetの3種類のリモートコントロールに対応しています。同時に使用可能なリモートコントロールは1種類です。

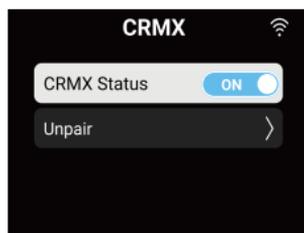
2.1.7.1) Bluetooth

Sidus Linkアプリからライトを操作する場合、Bluetoothをオンにしてください。新しくデバイスとペアリングを行う場合、「Bluetooth Reset」からリセットを実施して、デバイスのアプリからペアリングを行います。



2.1.7.2) CRMX

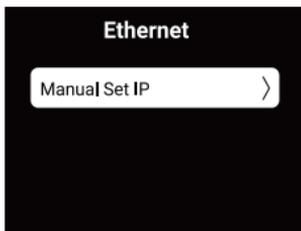
LumenRadio CRMXによるワイヤレスDMXに関する設定ができます。CRMX Statusがオンになっていると、ペアリング可能な信号を検索し続けます。「Unpair」を選択すると、保存されているペアリング情報を削除して、新たなペアリングを実施できるようになります。



2.1.7.3) Ethernet

Ethernet使用時のIPアドレスに関する設定を行います。

“Manual Set IP” でIPアドレスを手動で設定するか、“Automatic Obtain IP” でIPアドレスを自動的に取得することができます。



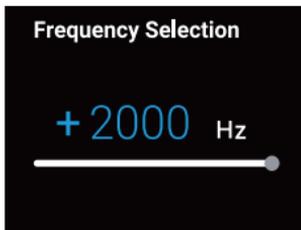
2.1.8) Language (言語)

表示言語を切り替えられます。英語、簡体字中国語から選択します。



2.1.9) Frequency Selection (周波数選択)

光の周波数を調整できます。セレクトダイヤルを回して100Hz単位で調整します。



2.1.10) Product Information (製品情報)

本体に関する情報を表示できます。

ハードウェアバージョン、またUID (シリアルナンバー) が確認できます。



2.1.11) Update (アップデート)

ファームウェアの確認・更新を行います。

ファームウェアアップデートはSidus Linkアプリからも実行できます。



2.1.12) Factory Reset (ファクトリー・リセット)

下記の工場出荷時の状態にリセットすることができます。

ライトモード : 光量 50%、色温度 5600K

言語 : 英語

ファンモード : スマート

調光カーブ : 直線

スタジオモード : OFF

コントロールシステム : Bluetooth

DMX : アドレス 001

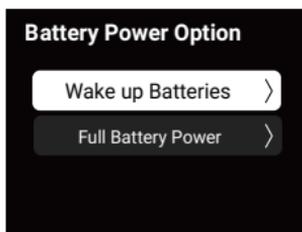
DMX信号喪失時の挙動 : Hold Last Settings



2.1.13) Battery Power Option (バッテリーオプション)

1. Wake Up Batteries : 過放電保護機能からリチウム電池を起動する必要がある場合、リチウム電池の仕様 14.4 V / 26 V を選択し、"Wake Up Batteries" インターフェースに入り、"Activate" を確認すると、リチウム電池を起動するために 3 A 電流が出力されます。起動後、リチウム電池に電圧出力があるかどうかを確認します。ある場合は起動に成功し、ない場合は起動に失敗しています。

2.Full Battery Power : 各リチウムバッテリーが360Wの連続出力（14.4Vバッテリーの場合最大出力電流30A、26Vバッテリーの場合最大出力電流15A）に対応する場合、リチウムバッテリー2本で入力電力72W、ランプは照度100%を達成することが可能です。360Wの連続出力に対応しないバッテリーを使用するとこのモードを使用すると、バッテリーを損傷する場合があります。

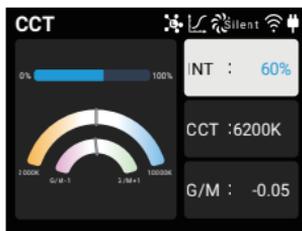


2.2 LIGHT MODEボタン

LIGHT MODEボタンを押して、発光モードをこちらの中から切り替えることができます:CCT, HSI, RGB, XY, RGB, Source, GEL.

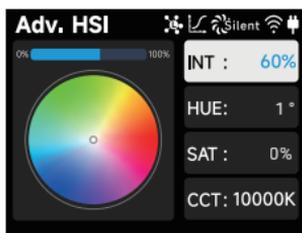
2.2.1 CCT

INT (光量・0~100%)、CCT (色温度・2300K~10000K)、G/M (グリーン/マゼンタ色被り補正・-1.0~+1.0) を調整できます。



2.2.2 Advanced HSI

INT (光量・0~100%)、HUE (色相・1-360°)、SAT (彩度・0~100%)、CCT (色温度・2300K~10000K) を調整できます。

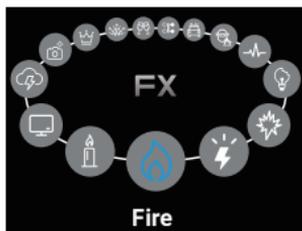


2.2.3 FX (エフェクト)

下記の16種類のライティングエフェクトを選択できます。

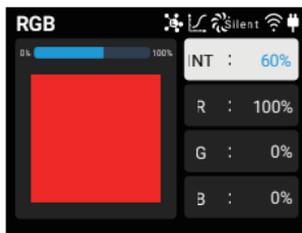
Fire (炎)、Strobe (ストロボスコープ)、Explosion (爆発)、Faulty Bulb (切れかけの電球)、Pulsing (パルス発光)、Welding (溶接)、Cop Car (パトカー)、Color Chase (カラーチェイス)、Party Lights (パーティーライト)、Firework (花火)、Club Lights (クラブライト)、Paparazzi (パパラッチ)、Lightning (雷)、TV、Candle (ろうそく)

各プリセットはそれぞれ複数の調整可能な項目があります。



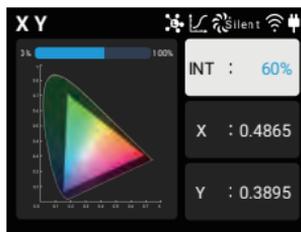
2.2.4 RGB

INT (光量・0~100%)、Red / Green / Blue各チャンネル (0~100%) を調整できます。



2.2.5 XY

INT (光量・0~100%)、X/Y座標 (0.0000~0.8000) を調整できます。



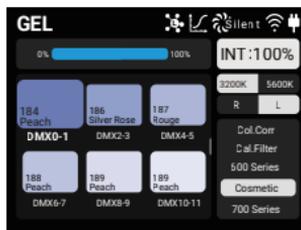
2.2.6 Source

46種類の光源プリセットを選ぶことができます。選択後X/Y座標の数値を微調整することができます。



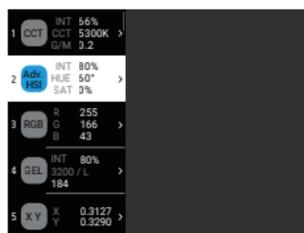
2.2.7 GEL

ROSCO社製、またはLEE社製のジェルフィルターをシミュレーションすることができます。INT (光量・0~100%)、基準色温度 (3200Kまたは5600K)、フィルターメーカー (R・ROSCO または L・LEE) および各フィルターを選択できます。



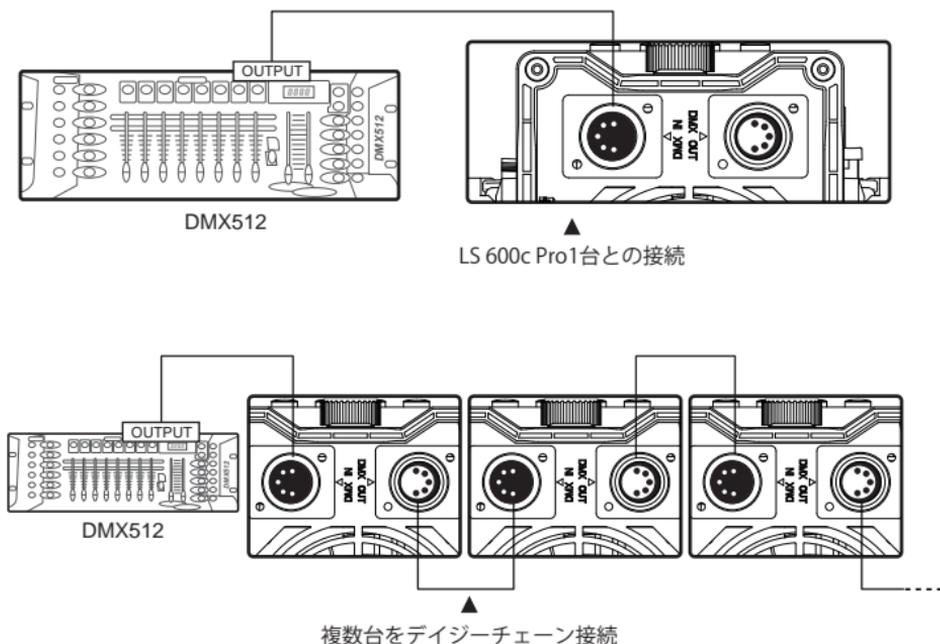
2.3 Light Preset (ライトプリセット)

CCT (色温度)、Adv.HSI (カラーホイール)、RGB、GEL、XY座標のいずれかから選んでプリセットを作成、10個まで保存することができます。

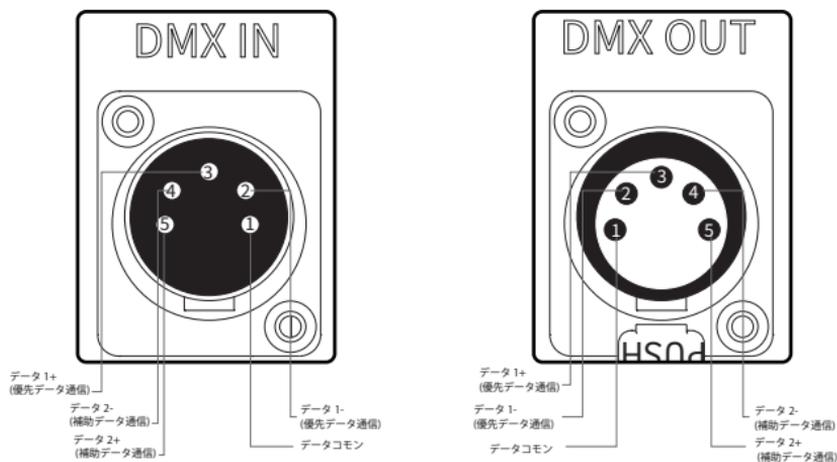


3. DMX接続

3.1 一般的なDMXコントローラーと接続



*DMXコネクタのピン・アサインは下記の通りです。



3.2 チャンネル選択

DMXモードにて選択したDMXチャンネルとコントローラーの設定を揃えることで、コントローラーからライトを調整できます。

- * DMXチャンネルの初期設定は "001" です。
- * DMXチャンネルは、1~512の間で設定できます。

4. DMXを経由してコントロール

LS 600c ProはさまざまなDMXプロファイルを搭載しており、プロファイルごとにチャンネルに割り当てられる機能が異なります。詳細は別紙のDMXチャートをご覧ください。

5. Sidus Linkアプリを使用

Bluetooth接続でリモートコントロールできる「Sidus Linkアプリ」を、iOS AppストアおよびGoogle Playストアより無料でダウンロードできます。

sidus.link/app/help/にて、ご使用方法や詳細についてご案内しています（英語）。

ダウンロードページ



Get Sidus Link® App

ヘルプページ



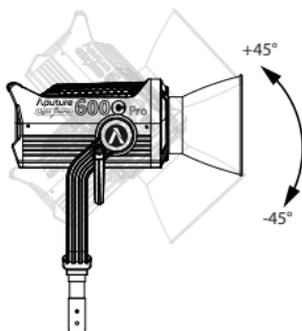
Sidus.link/app/help

スペック

消費電力	≤720W	出力	≤600W
電源	AC 100V~240V	動作電流	8A
CRI	≥95	TLCI	≥98
SSI (D56)	74	SSI (D32)	85
色温度	2300 K - 10000 K	動作温度	-20°C~45°C
動作電圧 (バッテリー)	14.4 V - 15 A 26 V - 8 A 28.8 V - 7.5 A	動作電圧 (3ピンXLR)	48 V - 15 A
Bluetooth 動作範囲	≤ 80 m	CRMX 動作範囲	≤ 100 m
サイズ	ランプヘッド (ヨークなし)	30.2x22.2x15.0 cm / 11.9x8.74x5.90 in	
	ランプヘッド (ヨークつき)	45.3x26.7x15.0 cm / 17.8x10.5x5.9 in	
	コントロールボックス	36.6x19.7x15.6 cm / 14.4x7.7x6.1 in	
重さ	ランプヘッド (ヨークつき)	5.86 kg / 12.92 lbs	
	コントロールボックス	5.21 kg / 11.48 lbs	

* ランプ部分への浸水が原因で故障した場合は、保証の限りではありません。

* 豪雨の中でのLS 600c Pro 使用に際しては、以下のようにランプヘッドを傾斜させることをお勧めします。



フォトメトリクス

色温度	距離	リフレクター なし	LS 600 ハイパー リフレクター	F10フレネル (フラッド)	F10フレネル (スポット)
2300 K	1 m	11340 lux 1054 fc	35000 lux 3251 fc	17160 lux 1594 fc	35700 lux 3317 fc
	3 m	1370 lux 127 fc	3888lux 361fc	2150 lux 200 fc	4930 lux 458 fc
	5 m	565 lux 52 fc	1400 lux 130 fc	844 lux 78 fc	1875 lux 174 fc
3200 K	1 m	12300 lux 1143 fc	39500 lux 3669 fc	18660 lux 1734 fc	38800 lux 3605 fc
	3 m	1489 lux 138 fc	4388lux 407 fc	2335 lux 217 fc	5360 lux 498 fc
	5 m	615 lux 57 fc	1580 lux 146 fc	920 lux 85 fc	2042 lux 190 fc
4300 K	1 m	13250 lux 1231 fc	43000 lux 3994 fc	21100 lux 1960 fc	41800 lux 3883 fc
	3 m	1605 lux 149 fc	4777 lux 443 fc	2513 lux 233 fc	5780 lux 537 fc
	5 m	662 lux 62 fc	1720 lux 159 fc	990 lux 92 fc	2195 lux 204 fc
5600 K	1 m	14890 lux 1383 fc	50000 lux 4645 fc	22510 lux 2091 fc	46900 lux 4357 fc
	3 m	1800 lux 167 fc	5555 lux 516 fc	2810 lux 261 fc	6450 lux 599 fc
	5 m	743 lux 69 fc	2000 lux 185 fc	1110 lux 103 fc	2464 lux 229 fc
7500 K	1 m	16150 lux 1500 fc	50300lux 4672 fc	24310 lux 2258 fc	35700 lux 3317 fc
	3 m	1947 lux 181 fc	5588 lux 519 fc	3020 lux 281 fc	50500 lux 4692 fc
	5 m	802 lux 75 fc	2012lux 186 fc	1200 lux 111 fc	2667 lux 248 fc
10000 K	1 m	14540 lux 1351 fc	44500 lux 4134 fc	22190 lux 2062 fc	46000 lux 4274 fc
	3 m	1766 lux 164 fc	4944 lux 459 fc	2760 lux 256 fc	7020 lux 652 fc
	5 m	724 lux 67 fc	1780 lux 165 fc	1091 lux 101 fc	2413 lux 224 fc

*これらの数値は平均値です。実際の測定値とは異なる場合があります。